



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

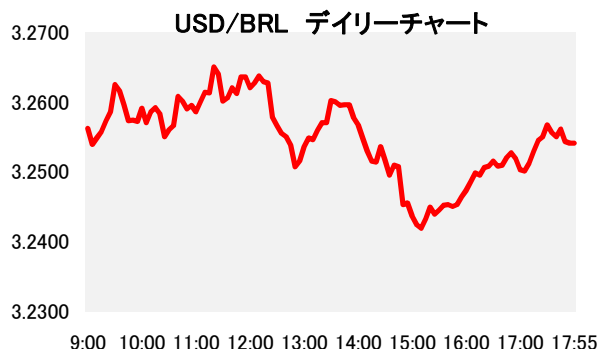
## 1. マーケット・レート

			11月13日	11月14日	11月16日	11月17日	11月21日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2790	3.3150	3.2780	3.2590	3.2540	-0.0050
	BRL/JPY	Spot	34.64	34.20	34.48	34.40	34.56	+0.16
	EUR/USD	Spot	1.1666	1.1792	1.1766	1.1797	1.1743	-0.0054
	USD/JPY	Spot	113.60	113.41	113.00	112.11	112.44	+0.33
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.919	6.944	6.934	6.927	6.912	-0.015
	Future	1Year(p.a.)	7.131	7.151	7.149	7.118	7.108	-0.010
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.432	2.501	2.462	2.496	2.553	+0.057
	USD	1Year(p.a.)	2.630	2.648	2.625	2.660	2.705	+0.045
株式	Bovespa指数	72,475.19	70,826.63	72,809.04	73,437.28	74,368.63	931.35	
CDS	CDS Brazil 5y	180.17	181.20	179.14	177.07	174.54	-2.53	
商品	CRB指数	191.448	189.057	188.246	190.386	189.829	-0.56	

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

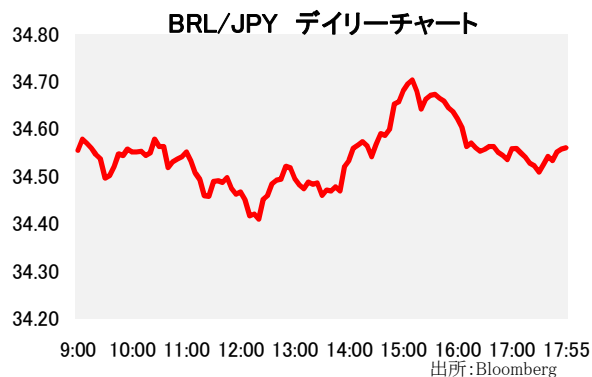
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IGP-M Inflation 2nd Preview	0.29%	0.37%	0.30%
(米) ヲガ' 連銀全米活動指数	0.20	0.65	0.36
(米) 中古住宅販売件数	5.40m	5.48m	5.37m
(米) 中古住宅販売件数(前月比)	0.2%	2.0%	0.4%



## 3. 要人コメント

メイレス伯財務相	年金改革は止まってはならない。
----------	-----------------



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.2560で寄り付いた。レアルは直ぐさま本日の安値となる3.2650を付けたが、直後からドルが対エマージング通貨で売られる中、レアルも反発した。更に国内では年金改革に対する期待感からレアルは堅調に推移、日中高値となる3.2410まで買い進まれた。引けにかけてレアルはやや売り戻され、結局3.2540でクローズ。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.73%に据え置かれ、2018年は2.50%から2.51%に上方修正された。インフレ率予想は2017年が3.09%に据え置かれ、2018年は4.04%から4.03%に下方修正された。為替レートは2017年末が3.20から3.25へレアル安方向に修正され、2018年末は3.30に据え置かれた。
- ボベスパ指数は3日連続で上昇。ほぼ全銘柄が上昇する中、素材銘柄の大幅上昇が目立った。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。